



Joyful Naturalist

Joyful Naturalist は「鶴見川源流ネットワーク」の通信から「特定非営利活動法人 鶴見川源流ネットワーク」の情報誌に生まれ変わりました。

Contents

Topics * 小山田緑地たんぼの会活動
* 「鶴見川水系河川整備計画」と「鶴見川流域水害対策計画」策定へ
NPO法人鶴見川源流ネットワークプロジェクト活動
NPO法人鶴見川源流ネットワークとして推進しているプロジェクト活動の紹介です。
鶴見川源流ネットワーク参加団体活動
鶴見川源流ネットワークとして連携している諸団体から依頼されて広報するページです。
9月、10月の活動報告
11月、12月の活動予定

No.154

「鶴見川源流の森」こども達とどんぐり学習



町田市北部丘陵は自然環境が未だ残る貴重な地域。その中でも、八王子市と多摩市に接した町田市上小山田町は鶴見川の最源流域で「農とみどりのまちづくり」プランでも「鶴見川源流の森」として自然環境保全のゾーンとして位置づけられている。ただ開発はされなかったものの、長年放置された結果、アズマネザサやマダケが繁茂し荒廃した森となり、雑木林が本来有する保水機能や生物多様性が失われてきている。町田市も健全な森を再生すべく取り組みを始めているおり、この地で20年来、環境保全活動を続けてきた私もさまざまな形でお手伝いを行っている。その中で、今回は落葉広葉樹の育苗活動を紹介する。

通称「どんぐり学習」と呼ばれているもので、町田市の委託を受けている事業のひとつである。森の再生方法のひとつとして、アズマネザサやマダケを伐採した跡にコナラやクヌギを植栽する計画で、その苗木づくりのため地元小学校と連携してこども達にどんぐりを植えてもらっている。苗床は地元地権者から不耕作の畑地を借用し、育った苗木は数年後に森に移植する予定である。内容は学年にもよるが、講師による「自然環境とどんぐり」の講話とどんぐりの植栽体験で昨年は1,500個、今年は異常にどんぐりが少なかったのが会員や連携団体に苦労していただいて鶴見川流域中から集め先日900個植えた。当のこども達は、どんぐりよりもどんぐりに寄生しているクリシギゾウムシやノウサギの糞の塊に夢中で野外での楽しい半日を過ごしていた。今年中に更に500個植える予定。学校にも積極的に総合学習としてあるいは地域活動として組み入れていただいているが、こども達にとっては、我がふる里づくりの良い思い出になるものと期待している。